

「田代小学校の上柴立棒踊り」伝承活動の取組

1 学校名

錦江町立田代小学校

2 学年・人数

5・6年 (約30人)

3 場所・日時

(1) 練習の場所・日時

・場所：上柴立公民館

日時：夏休み中7月と8月の最終週の平日 各4日の計8日 夜7時～8時30分

・場所：田代小校庭

日時：9月～10月中の平日放課後

(2) 発表の場所・日時

田代小運動会(場所：田代小校庭、9月第4日曜日)

錦江町いきいき秋まつり(場所：錦江町役場本庁駐車場 11月第2日曜日)

4 伝承・活用に取り組んでいる郷土芸能，伝統行事や史跡について

(1) 名称

上柴立棒踊り(かみしばたてぼうおどり)

(2) 由来

棒踊りは兵士の士気を鼓舞するため，もしくは風俗刷新のため奨励されたものといわれており，約400年前から伝えられた行事である。錦江町上柴立へは約100年前に加世田(南さつま市)より移り住んだ柳田三太郎氏が当時の青年団に棒踊りを広め，昭和10年(1935年)11月に田代尋常小学校講堂落成記念に奉納し，その後，田代村の主要行事などや民家の新築等に奉納していた。

(3) 構成等

踊りにより構成が異なる。ナタ鎌踊りが4人×3組，六尺棒踊りが6人×2組で12人が最小構成人数である。構成人数に関係ない輪踊りもある。

5 保存会や地域との連携の具体

地元「上柴立棒踊り保存会」の指導の下，毎年5・6年生がこの踊りを練習し，学校の運動会を始め，地域の行事(錦江町いきいき秋まつり)などで披露している。

6 文化財伝承・活用の取組の工夫した点

- ・ 保存会員も会員の減少(現在10人)や高齢化が進んでおり，また小学生5・6年生もスポーツ少年団活動等多忙であるため，夏休みの最初と最後の夜間に集中して行うこととなった。
- ・ 練習方法では，経験のある6年生を模範とし班別に行うことで上達への工夫をしている。
- ・ 運動会など活動発表の際は，保存会の歌にあわせて小学生は踊りを行っている。

7 取組の様子（練習状況、発表の場等の写真）



錦江町いきいき秋まつり出演



上柴立棒踊り保存会の挨拶



運動会での発表の様子

8 参加児童生徒・保護者・保存会・教員等の感想・意見

- ・ 保存会の方々が無心に指導して下さり有難いと思います。また、子どもたちも地域の郷土芸能を踊る機会があり、良い経験になります。(保護者)
- ・ 棒踊りは真剣に取り組まないとケガをしたり、パートナーに迷惑をかけたりします。足の曲げ伸ばしが多く、激しい踊りなので大変よい運動になります。(児童)
- ・ 田代小学校の児童の皆さんと棒踊りの練習をするにあたり、保存会の諸先輩方が、この踊りを絶やすことなく、より発展させていきたいと願って、踊りの指導・段取り等を積極的に行って頂けることが、頼もしいです。(保存会会長)